

### 豊前宇都宮氏の祖 “信房”

NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』の中で宇都宮鎮房が官兵衛の面前で土をひとつまみ口に含み、「この地に根ざして四百年、当家はこの大地とともに歩んできた」という意味の発言をしますが、この言葉が豊前宇都宮氏と当地との関係を端的に表現しています。豊前宇都宮氏はまさに豊前の地に根ざした「根生いの武士団」であり、鎮房の立場からすれば、この土地と切り離されることは耐え難い事であったのでしよう。これに対し、黒田官兵衛に象徴されるように近世以降の武士団は上司の命令による国替えを当然のこととして行うようになります。ゆえに「鉢植えの武士団」と例えられ、土地に根ざした中世武士団とは完全に区別されます。そうした意味で豊前宇都宮氏は最後の中世武士団と言えるでしょう。

鎮房の時代から遡ること四百年前の平安時代末期、豊前宇都宮氏の祖“信房”は父祖の京都での基盤を受け継いで京都朝廷で働きました。父祖の宗房は待賢門院璋子（たいけんもんいんたまこ）に仕えた人物です。待賢門院璋子は後の源平合戦へと繋がる保元の乱を起こした崇徳上皇と後白河天皇の実母で、権力争いに巻き込まれ不運な最期を遂げた人物です。

京都朝廷に仕える信房が鎌倉御家人となつたのは『吾妻鏡』によれば治承五（一一八一）年のこととされ、その後、文治四（一一八八）年には源頼朝の命により鬼界ヶ島（現 鹿児島県三島村）の平定を成功させ、平氏の支配権が強い九州統一の突破口を開きました。そしてその功績により建久三（一一九二）年、豊前国に所領を得ました。信房は豊前国への入部当時、豊前国府に近い京都郡みやこ町犀川木井馬場に本拠地を構え、本貫地である下野国（栃木県）から宇都宮大明神（宇都宮二荒山神社）を勧請して木井神社を建立し、その頂上には「神楽城」を築きました。麓で見つかった下木井遺跡では十三世紀代の屋敷区画の石列や井戸跡、また園池と思われる遺構が検出され、多量の舶載陶磁器や墨書土器なども出土しており、当時の宇都宮氏に係る館跡の可能性が高いと考えられます。

また信房は仏教に深く帰依し、木井神社の周囲に木井七ヶ寺（楞嚴寺・道場寺・高德寺・等山寺・平原寺・正安寺・常山寺）を建立しました。楞嚴寺にある信房の墓と伝えられる大規模な律宗系五輪塔や常山寺跡に残る鎌倉時代の多層塔（四方仏）は当時の宇都宮氏の仏教文化への深い造詣を物語ります。

ます。

京都の泉涌寺に伝わる『泉涌寺不可棄法師伝』によると、晩年の信房は建保五（一一二八）年、京都から俊祐律師（しゅんじょうりつし）を招いて、夫婦揃って出家し、法名を「道賢」と号しました。

仏教に深く帰依した豊前宇都宮氏の祖“信房”。その流れを組む子孫達は数々の紆余曲折を経ながら、この豊前の地で四百年の歴史を刻んできたのです。

（文化財保護係 馬場克幸）



▲宇都宮信房肖像

※船迫窯跡公園体験学習館において、『最後の中世武士団 宇都宮氏の歴史展』が現在好評開催中です。

今回紹介した豊前宇都宮氏初代“信房”が豊前国に入部した当時に拠点とした、みやこ町犀川木井馬場の発掘調査で出土した貴重な土器多数も展示しています。

この機会にぜひご観覧ください。開館時間は午前九時から午後五時まで。入館料は無料です。（月曜日休館）

## NPO法人しいだコミュニティ倶楽部からのお知らせ

### 「26年度 囲碁・将棋大会」を開催します

と き 12月7日（日）  
 受付 9：00～／開会式 9：15分～  
 開始 9：30～

ところ 中央公民館 2階 和室

対 象 築上町民・町内勤務者

参加費 会 員 1,000円／会員外 1,500円  
 小中学生 500円

●弁当を用意しています。  
 ●各部の各パート 1～3位賞品を用意しています。

定 員 囲碁の部 32名 将棋の部 32名

申 込 12月2日（火）までに申込書に参加費を添えて、しいコミ事務局（椎田体育館56-0075）へ、お申込みください。

### \*トークショーの案内\*

元…ソフトバンクホークス背番号1番 柴原 洋（北九州出身）のトークショー

と き 12月11日（木）  
 14：00～（13：30開場）

ところ 中央公民館 大ホール

参加費 無料 対象：しいコミ会員・築上町民

定 員 220名  
 （入場整理券を事務局に用意します。11月11日（火）から配布）

申込・問い合わせ  
 NPO法人しいだコミュニティ倶楽部事務局  
 電話 56-0075